

『アメリカ史研究』自由投稿原稿の執筆要項

『アメリカ史研究』編集委員会

投稿のジャンルと審査について

自由投稿の原稿は、「論文」、「研究ノート」、「研究動向」の3つのジャンルに大別して募集しています。ジャンルごとに分量の制限があり、「論文」は400字詰め原稿用紙に換算して70枚程度、「研究ノート」は50枚程度、「研究動向」は35枚程度（いずれも図表や注などを含めて計算する）となっています。ただし、完成原稿提出の際は、本誌の体裁に準じて、それぞれのジャンルを明記のうえ、以下の要領で提出してください。いずれも図表や注などを含めた分量です。

論文： 43字×38行×17枚以内

研究動向： 43字×38行×12枚以内

研究ノート： 43字×38行×9枚以内

規定の枚数を明らかに超えているものについては審査の対象外とさせていただきますので注意してください。また、註については「註の書き方に関するお願い」を参照してください。

提出いただいた原稿は、編集委員会内部の委員および外部レフェリーによって審査され、編集委員会の責任において採否を決定することになります。決定までにおよそ1ヵ月半から2ヵ月ほどの時間がかかると思われませんが、決定次第ご連絡を差し上げます。なお、不採用となった場合でも提出いただいた原稿は返却いたしませんので、どうかご了承ください。

投稿原稿はジャンルごとに設定された異なる審査基準に従って審査されます。以下、その概要をお知らせしますので、原稿執筆の参考にしてください。

(1) 「論文」

ひとつのテーマを掘り下げた実証研究については、まずこのジャンルへの投稿を考えて下さい。このジャンルでは、原稿が「論文」として要求される形式面および論理構成面での基準を満たしているかどうか、史料の扱いかたが適切であるかどうか、また既存の研究に対する独自性があるかどうかの3点に則して審査が行なわれます。したがって、そのテーマについての研究史を整理した上で論文の課題を明確に設定すること、結論に至る論理の展開を明快にすること、論拠を明確に示すこと、史料の解釈やデータの分析を適切に行なうこと、類似のテーマに関する既存の研究の中ですでに明らかにされていることに加えて著者独自のオリジナルな知見を含めることなどに留意して原稿を作成することが求められます。

(2) 「研究動向」

特定のテーマについて近年の研究の流れを整理したり、今後に残された課題などを論じたりする文章は、このジャンルに投稿して下さい。ここでは、当該のテーマについての主要な研究を吟味すると同時に、著者の観点からそれらを評価し整理することが求められます。また、研究の進展によって明らかにされたことは何で、まだ未解決のまま残されている課題は何かを指摘することが必要です。

(3) 「研究ノート」

このジャンルは、主として現在進行中の研究を公開するために設けられているものと解釈してください。たとえば、現在取り組んでいる研究の、研究史における位置づけや新たな展望を提起するというような原稿が期待されます。審査基準は「論文」の場合に準じますが、「論文」の場合ほど研究の完成度は要求されません。

註の書き方に関するお願い

次の諸例を参考にしてください。詳しくは *Chicago Manual* を参照してください。

I. 註番号

1. 本文中の註番号は上付きの数字で、句読点の内側あるいは「」の外側に付す。

例 1 という見解もある¹。「アメリカ的伝統」²を考察する。

例 2 とするならば³、その可能性について検討するために

2. 註は文末註とし、上付きの註番号をそのまま用いる。

例 ¹George Lakoff, *Moral Politics*

²この点については、. . . .

3. 直接引用部分の途中で省略されている語句や文がある場合は、[中略]と記載する。

例 「ハムはカナンの父である。[中略] 彼らから全世界の民はわかれ出た」¹。

II. 文末註の文献表記例

注：①出版社名は洋書・和書にかかわらず必ず記載してください。

②日本語の書名／学術誌名／雑誌名／新聞名は『』で、英語の場合はイタリック体で。

③日本語論文・記事のタイトルは「」で、英語の場合は“ ”で。

1. 書物

1) 単著、単独編者

¹John Hope Franklin, *George Washington Williams: A Biography* (Chicago: University of Chicago Press, 1985), 60.

Arif Dirlik, ed., *What Is In A Rim: Critical Perspectives on the Pacific Region Idea* (Lanham, MD: Rowman & Littlefield, 1998).

岡野八代『法の政治学』青土社、2002年、214-215頁。

村井忠政編『トランスナショナル・アイデンティティと多文化共生——グローバル時代の日系人』明石書店、2007年。

2) 2人の共著

²Robert Lynd and Helen Lynd, *Middletown: A Study in American Culture* (New York: Harcourt, Brace and World, 1929), 78.

3) 3人の共著

³Mary Lyon, Bryce Lyon, and Henry S. Lucas, *The Wardrobe Book of William de Norwell, 12 July 138 to 27 May 1340, with the collaboration of Jean de Sturler* (Brussels: Commission Royale d'Histoire de Belgique, 1983), 66.

林かおり、田村恵子、高津文美子『戦争花嫁——国境を越えた女たちの半世紀』芙蓉書房出版、2002年。

4) 3人以上の共編

⁴Martin Greenberger et al., eds., *Networks for Research and Education: Sharing of Computer and Information Resources Nationwide* (Cambridge: MIT Press, 1974), 55.

5) 初版ではなく第2版

⁹M. M. Bober, *Karl Marx's Interpretation of History*, 2d ed. Harvard Economic Studies (Cambridge: Harvard University Press, 1948), 78.

6) 再版

¹⁰Michael David, *Toward Honesty in Public Relations* (Chicago: Condor Publications, 1968; reprint, New York: B. Y. Jove, 1990), 123-45.

7) ペーパーバックで再版

¹¹George F. Kennan, *American Diplomacy, 1900-1950* (Chicago: University of Chicago Press, 1951; Phoenix Books, 1970), 55.

8) 翻訳書 日本語訳の場合は著者の次に（ 訳）と入れること。

⁵Jean Anouilh, *The Lark*, trans. Christopher Fry (London: Methuen, 1955), 88.

2. 書物に所収された論文

1) 論文の著者が論文集編者と異なる場合

¹²Mary Higdon Beech, "The Domestic Realm in the Lives of Hindu Women in Calcutta," in *Separate Worlds: Studies of Purdah in South Asia*, ed. Hanna Papanek and Gail Minault (Delhi: Chanakya, 1982), 105.

糸井輝子「日本政府と二世越境教育——敵之館を事例として」吉田亮編『アメリカ日本人移民の越境教育史』日本図書センター、2005年、262頁。

2) 論文の著者が論文集編者と同じ場合・・・Asia (Delhi: Chanakya, 1982), 105.

3. 雑誌論文・記事

1) 学術雑誌

²¹Richard Jackson, "Running down the Up-Escalator: Regional Inequality in Papua New Guinea," *Australian Geographer* 14 (May 1979), 180.

²²Ilya Bodonski, "Caring among the Forgotten," *Journal of Social Activism* 14-3 (fall 1989), 112-31.

³³北村暁夫「日常実践としての移民：南イタリア・公証人文書の検討を通して」『史艸』（日本女子大学史学研究会）41号（2000年）、80-110頁。

2) 週刊誌

²²Bruce Weber, "The Myth Maker: The Creative Mind of Novelist E.L. Doctorow," *New York Times Magazine*, 20 October 1985, 41.

4. 新聞記事

ローカルなものは（ ）内に地名をいれること。

²³*Irish Daily Independent* (Dublin), 16 June 1904.

5. 未出版の博士論文など

日本語論文タイトルは「 」で、英語論文タイトルは“ ”で。

³⁴Gilbert Artioli, "Structural Studies of the Water Molecules and Hydrogen Bonding in Zeolites" (Ph.D. diss., University of Chicago, 1985), 12.

6. 古文書館の未出版文書

文書のタイトル・ファイル等番号・コレクション名・図書館／古文書館名／大学名など

⁴¹Robert Craft, "A Catalog of Manuscripts and Documents [of] the Original Works of Igor Stravinsky, 1970 (?)," TMs (photocopy), p. 136, Special Collections, Joseph Regenstein Library, University of Chicago, Chicago.

7. インタビュー

²³Mrs. Merle A. Remer, interview by author, Tape recording, Millington, Maryland, 26 July 1973.

8. インターネットや CD-ROM など

1) インターネット上の本

¹¹William J. Mitchell, *City of Bits: Space, Place, and the Infobahn* [book on-line] (Cambridge, Mass.: MIT Press, 1995); available from http://www.mitpress.mit.edu:80/City_of_Bits/Pulling_Glass/index.html; Internet; accessed 29 September 1995.

2) インターネット上の学術雑誌

¹²Joanne C. Baker and Richard W. Hunstead, "Revealing the Effects of Orientation in Composite Quasar Spectra," *Astrophysical Journal* 452: L95-L98, 20 October 1995 [journal on-line]; available from <http://www.aas.org/ApJ/v452n2/5309/5309.html>; Internet; accessed 29 September 1995.

3) 政府発行の CD-ROM

¹³U. S. Bureau of the Census, Median Gross Rent by Counties of the United States, 1990, prepared by the Geography Division in cooperation with the Housing Division, U. S. Bureau of the Census [CD-ROM] (Washington, D.C.:G.O.P., 1995).

9. 裁判の判決文

²¹Thompson v. Smith, 170 F. Supp. 331 (D. Conn. 1987)

注:裁判のケースの呼称は本文ではイタリック体で示されるが、註ではローマン体で記載。

Ⅲ. その他

1. 1つの註に2つ以上の文献などを記載する場合

³¹See Samuel P. Langley, *James Smithson* (Washington, D.C.: Smithsonian Institution, 1904), 18-19; Paul Oehser, *Sons of Science* (New York: Henry Schuman, 1949), 1, 9-12; and Webster True, *The First Hundred Years of the Smithsonian Institution, 1846-1946* (Washington, D.C.: Smithsonian Institution, 1946), 2-100.

2. すでに記載した文献を省略して記載する場合

1) 1つ前の註と同文献で同ページの場合

³⁵ Ibid.

2) 1つ前の註と同文献であるがページが異なる場合

³⁷ Ibid., 64-68.

3) 前掲の文献を省略して記載する場合 (たとえば、註3の文献を註5のように)

³Tucker Brooke, *The Renaissance (1500-1600)*, vol. 2 in *A Literary History of England*, ed. Albert C. Baugh (New York: Appleton-Century-Crofts, 1948), 104.

⁴Paul Oehser, *Sons of Science* (New York: Henry Schuman, 1949), 3-6.

⁵Brooks, *Renaissance*, 130.